



2021年12月20日

各 位

株式会社CAICA DIGITAL
代表取締役社長 鈴木 伸
(JASDAQ: 2315)
問合せ先:
代表取締役副社長 山口 健治
TEL 03-5657-3000 (代表)

CICCホワイトペーパーに関するお知らせ

当社は、当社が発行し、現在、暗号資産交換所「Zaif」や複数の海外の暗号資産交換所に上場している暗号資産「カイクoins (CICC)」のホワイトペーパーを公表いたします。詳細につきましては添付をご参照ください。

記

(添付)
別紙
「CICCホワイトペーパー」

以 上



CICC
ホワイトペーパー

2021年12月20日

目次

はじめに

1. カイカコイン (CICC) とは

(補足) 株式会社フィスコとの関係について

2. カイカコイン (CICC) プロジェクトとは

3. カイカコイン (CICC) プロジェクトスキーム

1) サービスの拡充

2) 保有者の拡大

3) 流通の促進

4. 開発ロードマップ

1) サービスの拡充

2) 保有者の拡大

3) 流通の促進

5. カイカコイン (CICC) プロジェクトのサポート要因

1) 拡大する分散型金融 (以下 DeFi) への参入

2) 暗号資産に精通した CAICA グループのサポート

3) カイカコイン (CICC) プロジェクト推進における強力なパートナー企業

4) 積極的な情報提供

6. CICC の保有者分布

CICC の保有者分布の構造 (その定義)

CICC の保有者分布 (2021 年 10 月末時点)

はじめに

- ・本プロジェクト概要は、株式会社CAICA DIGITAL が計画、推進しているプロジェクトであり、ここで記載する各種サービスは株式会社カイカエクスチェンジ（旧 株式会社 Zaif）と調整の上で検討を今後進めさせていただくものになります。
- ・本プロジェクト概要は、今後のCICCのサービス方針を発信するものであり、投資や口座開設などの行為および行動を勧誘したりするものではありません。
- ・本プロジェクト概要は、作成時点における情報に基づき、今後の計画や予測等を基礎として記載しております。内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性などについて、株式会社CAICA DIGITAL が保証をするものではありません。
- ・本プロジェクト概要に記載されている市場及びCICCの価値は、経済政策や世界情勢などの景響及び発行体である株式会社CAICA DIGITAL の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合もあります。本プロジェクト概要の読者が、情報をいかなる目的で使用する場合においても、読者の判断と責任において使用するものであり、結果として、読者に何らかの損害が発生した場合でも、株式会社CAICA DIGITAL はいかなる責任も負いかねます。
- ・本レポートにかかる一切の権利は、株式会社CAICA DIGITAL に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、書面による承諾を得ずに複製または転載等を禁じます。

1. カイカコイン (CICC) とは

- 株式会社CAICA DIGITAL (JASDAQ2315、以下CAICA DIGITAL) によって、ブロックチェーンのイーサリアムブロックチェーン上で発行されるトークンの規格であるERC20 に準拠して発行されたトークンで、上場企業により発行され、かつ、暗号資産交換所で取引ができる、日本でも数少ないコインであるといえます。
- CICC は、株式会社カイカエクスチェンジの運営する国内大手暗号資産交換所 Zaif (以下 Zaif) 及び複数の海外の暗号資産交換所で取引されています。

CAICA DIGITAL が主体となってCICCプロジェクトを推進していきます。

(補足) 株式会社フィスコとの関係について

- 株式会社フィスコ (以下フィスコ) は、CICCの発行元であるCAICA DIGITALの株式を議決権保有割合で約20.44%保有しております。
- フィスコは、大株主としてCAICA DIGITALとともに、Zaifを中心としたトークンエコノミーの形成を目指しており、CICCの 프로모ーション展開等についても協力して進めていきます。

2. カイカコイン (CICC) プロジェクトとは

- カイカコイン (CICC) プロジェクトとは、CICCの可能性を追求し、Zaifの取引所コイン (Zaifのサービスで利用できるコインをいう。以下同じ。) としてCICCを基軸としたサービスを拡充していくことを目指しています。具体的にはCICCをZaifの各種サービスのユーティリティトークンに位置付け、その流通の促進、保有者の拡大を進め、CICC建ての暗号資産取引などのCICCを利用したサービスや、分散型金融サービスとしてレンディングなどのサービスを検討し、CICCを活用するメリットを拡充していくプロジェクトです。
- なお、CICCをZaifの取引所コインとした場合には、Zaifで利用されることによって、手数料優遇等の様々なメリットを付与することを想定しています。

表① | CICCプロジェクトまとめ

目的	CICCのサービスの拡充、保有者の拡大、流通の促進	
戦略	サービスの拡充	Zaifのユーティリティトークン化
	保有者の拡大	グループをあげてのPR活動、エアドロップなど
	流通の促進	分散型サービスへの将来的な展開など

3. カイカコイン (CICC) プロジェクトスキーム

1) サービスの拡充

CICC を利用したサービス拡充に向けて、CAICA DIGITAL を中心に各種施策の継続的な実施を検討しています。

(1) 暗号資産関連ビジネスを通じた CICC 活用機会の拡充

CAICA DIGITAL を中心に、CICC のユーティリティ向上の基盤強化を検討していきます。例えば下記のような内容を想定しています。

- CAICA テクノロジーズにより、Zaif の基幹システムを刷新し、UI・UX の改善や、処理性能を向上させ、CICC 基軸のサービス拡張に向けた土台づくりを推進していきます。
- カイカ証券株式会社（以下カイカ証券）が販売する暗号資産レバレッジトラッカー・CFD サービスや、株式会社カイカキャピタルが提供するレンディングサービス、CAICA テクノロジーズが開発した NFT プラットフォームといった新規サービスにおいて、CICC の活用機会を拡充していくことを想定しています。

(2) 取引所コインとしての利用価値の拡充

Zaif の取引所コインとして、CICC を利用したサービスを今後検討していきます。例えば下記のようなサービスを想定しています。

- Zaif に口座をお持ちの方にて CICC を保有している方を対象に、Zaif にて IEO が実施された場合には、コイン応募時の参加権の付与
- Zaif に口座をお持ちの方に対して、CICC の保有量に応じた取引手数料の割引
- Zaif に上場している全ての暗号資産に対し、CICC 建の取引サービスの実装
- CICC を購入いただいた方にご利用いただけるガチャ機能（一定確率にてキャンペーン景品などの獲得機会を提供）の実装

- ガバナンス機能（CICC 保有者のコミュニティにおいて CICC のサービス決定に関し参考とするための投票権を得られるなど）の設計

2) 保有者の拡大

CICCホルダーの裾野拡大に向けて、エアドロップ、キャンペーンによるCICC配布や、webセミナー開催、Zaifとカイカ証券との連携、フィスコによるCICC紹介・分析記事の発信、SNSやコミュニティの設置など各種PRによる認知度向上などの様々な取り組みを通じて、保有者の拡大を図っていきます。

3) 流通の促進

CICCの流通を促進するために、Zaif及び複数の海外の暗号資産交換所に上場しています。

図① | カイカコイン（CICC）プロジェクトの概要



4. 開発ロードマップ

カイカコイン（CICC）プロジェクトの各戦略は、Zaifにおける開発ロードマップに従い、順次検討・展開することを想定しています。

図② | 開発ロードマップ

カイカコイン（CICC）プロジェクト開発ロードマップ

	2022年	2023年
サービスの拡充	取引所コインとしてのメリット拡充 ・手数料優遇 ・決済機能追加 ・IEO優遇策 ・通貨ペア組み入れ ・ガバナンストークン機能 新規サービス販売強化 ・暗号資産CFDサービス ・レンディング ・NFT 次世代Zaifシステム移行	保有メリットの拡充と新サービスの継続的な追加
保有者の拡大	プレゼンスの強化 ・Webセミナー開催 ・エアドロップ ・Zaifとカイカ証券との連携強化 投資運用情報の提供 ・テクニカル分析 ・投資情報提供企業との連携 投資家へのプレゼンス強化と投資環境の整備	
流通の促進	新規暗号資産の取り扱い ・新規暗号資産通貨の取り扱い ・暗号資産建新規金融商品の取扱 国内外取引所への上場拡大	Zaifにおける顧客獲得と国内外の取引所上場による流動性向上

1) サービスの拡充

CICCの保有メリットの拡充と新サービスの継続的な追加を進めて参ります。

① 2022年10月期第2四半期から順次リリースを予定

- ・ 取引所コインとしてのサービスを拡充
 - ・ Zaif利用者のCICCの保有量に応じた取引手数料の割引
 - ・ Zaif利用者のCICCによる決済機能の付与
 - ・ Zaif利用者がCICCを保有している方を対象に、ZaifにてIEOが実施された場合の、コイン応募時の参加権を付与
 - ・ CICC建ての暗号資産ペア組み入れ（CICC売買機会の拡大）

- ・ ガバナンストークン機能の追加（コミュニティの活性化、保有者ニーズをサービスに反映させるための仕組み）
 - ・ 新規サービス販売強化（暗号資産 CFD サービス、レンディング、NFT）
- ② 2022年10月期第4四半期にリリースを予定
- ・ Zaifの基盤システムを刷新

2) 保有者の拡大

投資家へのCICCのプレゼンス強化をおこないます。

- ① 2022年10月期第2四半期から順次リリースを予定
- ・ CICCに関する情報提供を強化し、CICCの認知度を上げる事で保有者の拡大につなげます。
- ② 2022年10月期第4四半期から順次リリースを予定
- ・ 暗号資産の投資運用情報（テクニカル分析、暗号資産の投資情報提供企業との連携）を定期的に提供し、投資家に向けてより健全な分析情報を発信します。

3) 流通の促進

ZaifにてCICCに投資するお客様の獲得と海外交換所への上場を展開

- ① 2022年10月期第3四半期から順次リリースを予定
- ・ 新規暗号資産の取り扱いによってZaif利用者を増やし、CICC建ての取引の増加につなげ、CICCの流動性を上げていきます。
- ② 2023年10月期第1四半期から順次
- ・ CICCの市場状況を十分に踏まえた上で、国内外暗号資産交換所へのCICCの上場拡大による流動性向上を検討していきます。

5. カイカコイン (CICC) プロジェクトのサポート要因

1) 拡大する分散型金融 (以下 DeFi) への参入

CICC は、DeFi において使用される暗号資産銘柄 (以下、DeFi 関連銘柄) で実績の多いイーサリアムブロックチェーン上で発行されるトークンの規格である ERC20 に準拠したトークンです。今後、レンディング等のサービスで DeFi への参入を検討していきます。

2) 暗号資産に精通した CAICA グループのサポート

CICC は暗号資産が市場に出始めた初期から暗号資産交換所としてのノウハウを持つ、株式会社カイカエクスチェンジ (旧 株式会社 Zaif) (以下カイカエクスチェンジ) において取り扱われています。また、ブロックチェーン関連システムの開発を主とする CAICA テクノロジーズが技術サポートを行います。また、暗号資産関連サービスについて、CAICA グループの金融商品の企画開発を行うカイカ証券株式会社とのシナジー効果が期待できます。このような CAICA グループによるサポートがあることから、カイカコイン (CICC) プロジェクトを推進するための土台が整っております。

(1) 株式会社カイカエクスチェンジ (旧 株式会社 Zaif)

- 株式会社カイカエクスチェンジは Zaif を運営
- 取扱い暗号資産の数は 13 種類と国内有数です。日本発のトークンを積極的に取り入れた暗号資産交換所で、日本のサブカルチャーのコミュニティから生まれたコインや、日本の上場企業が発行しているコインなどを、より多く取り扱っています。特に、注目を集めている NEM(XEM)や Symbol(XYM)の取引高は世界有数です。
- 預かり資産約 1,536 億円 (2021 年 11 月 30 日時点)、口座数約 34 万口座と業界大手の一角を占めています。
- 2017 年 9 月に暗号資産交換業の登録をした老舗ブランドの 1 社です。
- CICC と同じく、Zaif にて上場されている FSCC と連携した様々な取り組みを模索しています。

(2) 株式会社 CAICA テクノロジーズ

- ブロックチェーン及び暗号資産関連のシステム開発を主とした CAICA DIGITAL の子会社です。
- 金融機関向けのシステム開発が柱（6割）、なかでも近年注目されている Fintech 分野を担う CAICA グループの中核企業です。
- 主なシステム開発事例として、Zaif の基盤システム開発及び保守運営、NFT プラットフォームの開発及び保守運営、コミュニケーション・プラットフォーム「Gu-Gu」の開発及び保守運営等。
- 企業セキュリティコンサルを積極的に行っており、暗号資産事業において重要なサイバーセキュリティにおけるノウハウを保持しています。

(3) カイカ証券株式会社

- 暗号資産に関連した新たな金融商品を企画・開発・運用しています。
- カイカエクスチェンジと合同での金融商品研究などを実施しています。

3) カイカコイン（CICC）プロジェクト推進における強力なパートナー企業

(1) 株式会社フィスコ

CICC に関する紹介レポートや価格分析など、プロモーション展開していくうえで強力なパートナー企業です。

- JASDAQ 上場（3807）の投資情報配信会社。
- アナリスト作成の企業調査レポートを、主に大手ポータル、機関投資家、金融機関、等へ配信。
- 特に、大手証券会社によるカバレッジが及ばない、中小型銘柄に対するアクセスに強みを有します。

- 全国、上場企業をはじめとした様々な業種の取引先、3,700社へのアクセスが可能です。
- CICC に関する情報発信における、強力なパートナー企業です。

(2) 株式会社クシム (旧アイスタディ株式会社)

カイカコイン (CICC) プロジェクトにおける技術サポートや、開発を進めていくうえで強力なパートナー企業です。

- 東証2部に上場 (2345) しており、AI・ブロックチェーンに代表される高度ITエンジニアの育成教育事業と同領域の受託開発・研究を展開しています。
- 主な受託実績として、東京大学松尾研究室との共同研究による介護業界向けAIによる行動認識エンジンを搭載した見守りシステムの開発や暗号資産を対象とする自動トレーディングシステムの開発、DeFi領域のアプリケーションの開発、暗号資産を利用したDAppsアプリケーションの開発等。
- 先端技術者を有する、Zaif基盤システム開発におけるパートナー企業です。

(3) チューリングガム株式会社

カイカコイン (CICC) プロジェクトにおける技術サポートや、開発を進めていくうえで強力なパートナー企業です。

- ブロックチェーン分野のエキスパートであるエンジニアたちが集い、秘密演算とブロックチェーン技術を使い、新たなブロックチェーンアプリを開発しています。クリプトやブロックチェーンに対して長年研究や開発を通じて貢献してきた技術者が多数在籍しています。
- R&Dと受託開発を主な事業としています。R&DではEnigmaやEthereumなどのブロックチェーン、その他秘密演算技術を網羅的に研究、開発を行っており、受託開発では各企業に対して最適なコンサルティング及びサービス開発を提供しています。特にDeFi分野のアプリケーション実装やコア機能の開発を得意とします。Zaifのシステム基盤改修にも参画実績があります。

- 2020年3月、株式会社クシムとの間で資本業務提携を締結したことを発表。この提携により、ブロックチェーン上の取引を個人のプライバシーを秘匿しながら行う技術「シークレット・コントラクト」の開発・社会実装を図っていく方針です。チューリングラム株式会社が提供する Enigma Protocol のシークレット・コントラクトを応用すれば、マイナンバーや電話番号、個人保有の資産情報、ゲノムデータ等を秘匿化したままチェーンに書き込むことが可能となるため、金融や医療などの分野にも対象サービスの提供機会が広がることが期待されています。

4) 積極的な情報提供

- CICC の動向は、上場企業である CAICA DIGITAL の決算スケジュールにあわせて、適宜配信の予定です。
- CICC に絡むイベント等の不定期事象は、都度、CICC の Web サイトを通じて告知、必要に応じて説明会を開催します。
- 今後、CICC のツイッターなどの SNS を通じての情報提供を予定しています

6. CICCの保有者分布

(1) CICCの保有者分布の構造（その定義）

- CICCの発行可能枚数は300,000,000CICCです。
- 保有者分布は、下記のように定義されます(図④参照)。

➤ 自己保有分

CICCの発行元であるCAICA DIGITALが保有する未流通コインの枚数です。

➤ 戦略投資家保有分

カイカコイン（CICC）プロジェクトに参画し、その拡張に貢献いただきたいパートナーがCICCを戦略的に購入し、保有いただいている枚数です。

具体的には（i）～（iii）で構成されます(図④参照)。

（i）CAICA DIGITALの大株主（上位10名）であり、CICCの大口保有者（上位10名）。

（ii）CAICA DIGITALの株主であり、CICCの大口保有者（上位10名）

（iii）CAICA DIGITALの株主ではないが、CICCの大口保有者（上位10名）

➤ 一般投資家保有分

上記戦略投資家以外の投資家に保有いただいている枚数です

具体的には（iv）～（vi）で構成されます(図④参照)

（iv）CAICA DIGITALの大株主（上位10名）であり、CICCに投資している方（大口保有者ではない）

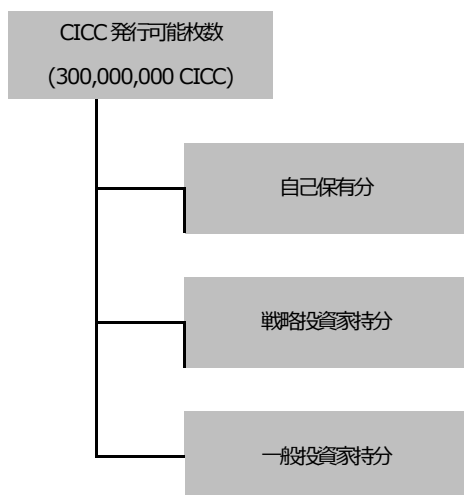
（v）CAICA DIGITALの株主であり、CICCに投資している方（大口保有者ではない）

（vi）CAICA DIGITALの株主ではないが、CICCには投資し、保有いただいている方

発行元である CAICA DIGITAL が株主に配布した CICC (2017年2月に、1.5 億枚超。累計 1.6 億枚超) は、株主の方に継続保有いただいているか、市場を通じて第三者 (上記 (iii) と (vi) の投資家) に流通しています。

図④ | CICC 保有者の分布構造と分類 (定義)

□保有者の分布構造



□保有者の分布構造

		暗号資産交換所 Zair (口座をお持ちの方)		
		CICC に投資 保有されてる方		CICC を 保有せず
		大口保有者 (上位10名)	その他	
CAICADIGITAL 株主 (法人・個人)	大口保有者 (上位10名)	i	iv	/
	その他	ii	v	
CAICADIGITAL の株主でない 法人・個人の方		iii	vi	/

(2) CICC の保有者分布 (2021 年 10 月末時点)

- 約 46% : (約 1.39 億 CICC) 自己保有分

CICC の発行元である CAICA DIGITAL が保有する未流通コインの枚数です

- 約 36% : (約 1.08 億 CICC) 戦略投資家保有分

図④に記載した (i) ~ (iii) に区分される方の保有分です。

CICC プロジェクトに参画し、その拡充に貢献いただきたいパートナーさまが CICC を戦略的に購入し、保有いただいている枚数です

- 約 18% : (約 0.53 億 CICC) 一般投資家保有分

図④に記載した (iv) ~ (vi) に区分される投資家保有分です。

Zaifにて取引された数量で市場に流通しています。

